

(冒頭)

- 在シドニー日本国総領事の紀谷でございます。いつも大変お世話になっております。
- まず、2021/22年度の会頭を務められた白井様、当地日本企業を代表して様々な会合でご活躍いただき、心から感謝申し上げます。
- 2022/23年度の会頭を担われる隅田様、本年4月に着任されたところでございますが、幅広いご経験を生かし、新たなリーダーシップを発揮されることを期待しております。
- そして、旧年度、新年度の役員の皆様、事務局の皆様、大変ありがとうございました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

(安倍元首相の急逝)

- 始めに、安倍元総理が亡くなられたことは、皆様にとっても大きな衝撃であったことと思います。ここシドニーではオペラハウスに日の丸がライトアップされ、当館にも在留邦人のみならず豪州人など多数の皆様が弔問記帳に訪れました。

(日豪間往来と日豪経済)

- さて、新型コロナウイルスの感染状況は引き続き予断を許さない状況ではありますが、幸いなことに、対面が可能な機会は徐々に増え、要人の往来も再開しており、日豪間のビジネスの動きが加速しています。
  
- 本年5月には、就任直後のアルバニー首相が訪日し、日米豪印首脳会合と日豪首脳会談が行われました。日豪両首脳は、引き続き、経済分野の協力の深化等を基礎として、日豪が緊密に連携していくことを確認しました。

○今月の12日にはシドニー・エネルギーフォーラムが開催され、萩生田経済産業大臣が来訪、出席されました。また、15日には金子総務大臣がシドニーを来訪し、テックセントラル地区への日本企業の参画を視察されました。

○今月後半には、北部準州ファイルズ首席大臣、NSW州ペロテ首相が相次いで訪日しました。いずれも就任後初めての外遊先が日本であり、日本を重視していることが目に見える形で示されました。

(シドニー日本商工会議所と日本企業への期待)

○日本企業の皆様の当地での常日頃の真摯な活動が、このような豪州の日本への期待、日豪間の強固な信頼関係につながっていると感じております。また、洪水被害にも義捐金を寄付いただきありがとうございます。

○現在、水素・アンモニアといったエネルギー分野における協力のほか、西シドニー開発でのスマートインフラをはじめとする各種投資、資源・製品・農林水産品などの輸出入、スタートアップを含む豪州企業との連携など、日豪間で多様なビジネスが進展し、更なる成長の余地も大きいと考えています。往来の全面再開後は双方向の観光の発展も期待しています。

○今後も日豪ビジネスの発展に向けて、日本企業の皆様を束ねるシドニー日本商工会議所の役割はますます重要になっていくものと考えております。

(結び)

○シドニー日本商工会議所の皆様のさらなるご発展と一層のご活躍を祈念するとともに、当地で日本政府を代表する在シドニー総領事として皆様を全力でご支援することをお約束し、私のご挨拶とさせていただきます。

以上